

編集後記

センターの紀要『創価教育研究』第5巻を、本年も3月16日に発刊することができた。

本号では『新・人間革命』第15巻「創価大学」の章で紹介された学生たちのモデルとなった卒業生による講演会の記録を紹介した。本センターならではの講演会であり、『新・人間革命』という池田研究の基本資料のひとつを、よりよく理解することに役立つ手法のひとつと思われる。また、戸田先生の『推理式指導算術』を手がかりとする創価教育の論考や資料は、センターでおこなった研究会の成果をもとにしたものであり、従来研究成果が乏しかった領域だけに注目していただけるであろう。さらに牧口先生に関連する重要な論考や資料も紹介できた。池田研究に必要な基礎的作業である牧口先生、戸田先生という創価教育の源流についての研究と、多様な池田研究の手がかりのひとつを紹介できたと思う。

センターは開設5年を迎え、一つの区切りを迎えることとなった。そこで、本号では第1巻から第5巻までの目次を掲載することとした。暗中模索という言葉どおりの5年間のセンターの活動が、目次を通してではあるが概観できよう。

紀要の編集にあたって、多くの方々にお世話になった。特に翻刻・索引の校正を手伝ってくださった江沢敏和さん、英文目次を作成してくださったオリビエ・ウルバンご夫妻、校正作業にあたってくださった坂口貴弘さん、高山京子さん、田中聖子さん、北川洋子さんに心からの御礼を申し上げたい。(Y.M.)